

# 薫風の丘



【教育目標】

心ひとつに明日をひらく  
「ゆたかに・たくましく・支え合って」  
けだかき姿 わが誇り

## 一般選抜入試 終了

3月8日(火)、令和4年度入学生の秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査が実施されました。本校の受検者は、全員アクシデントなく受検することができ、緊張の中にも、これまで培ってきた学力を十分に発揮できたものと思っています。

新聞には試験問題と解答があり、すでに自己採点を済ませたと思います。自己採点と(開示で確認する)実際の点数とは、異なることが多いようです。きっと、自己採点は最悪を想定した辛めの採点が多いからでしょう。あくまでも目安としながら、3月16日(水)の吉報を待ちたいと思います。



さて、1年後には、現在の2年生が高校受検を迎えるわけですが、各高校の倍率がどうなるのかわかりません。しかし、将来の目標達成のための志望校が、どんなに厳しい状況でも対応できる準備が必要です。1年生も同様で、「まだまだ先のこと…」とは考えず、毎日の授業や家庭学習の積み重ねが一番の受検対策になることを再確認し、自分の将来に向けた歩を進めてほしいと思います。



なお、令和5年度入試から入試制度が変更されますので、十分に理解したうえで、臨む必要があるでしょう。

## 感謝を形に



3月10日(木)、1・2年生が、お世話になった3年生への感謝の気持ちを表そうと、生徒会が主催して“3年生を送る会”が行われました。生徒会の進行の下、3年間の思い出映像、3年生へのインタビュー「今だから言えること」、お世話になり転出された先生方からのビデオレターがあり、最後に1・2年生から歌「旅立つ君へ」がプレゼントされました。

後輩たちにとっては、どれだけ時間があっても表現し尽くせない感謝の気持ちですが、限られた時間の中で、精一杯の感謝の気持ちを伝えることができたようです。



3月7日(月)、秋田県退職公務員連盟鳥海支会会長の佐藤有一様から、今年も卒業生に冊子『仁左エ門(にぜん)さまの話』をいただきました。地域についての学びを大切にしている本校ですが、改めて地域の偉人についての理解を深め、学び舎を巣立つことに大きな意義を感じます。

佐藤有一様ありがとうございました

